

奈良県立万葉文化館蔵

『THE CLASSICAL POETRY OF THE JAPANESE』解題

井上 さやか

【書誌情報】

（貴重書番号：ハ51）

〔著者〕 Basil Hall Chamberlain

〔体裁〕 洋装、革表紙

〔刊年〕 明治十三（一八八〇）年

〔書肆〕 TRUBNER&CO.

〔冊数〕 一冊

〔寸法〕 縦二一・九cm、横一五・二cm

〔特記事項〕 著者献呈署名、アンカット本

【解説】

日本学者として名高いバジル・ホール・チェンバレン（一八五〇～一九三五年）の最初の日本文学研究書。明治六年（一八七三）に初来日し、一八七四～一八八二年まで築地の海軍兵学寮（海軍兵学校の前身）で英語教師として勤務していた時期に出版された。邦題は『日本人の古典詩歌』*1。『万葉集』『古今和歌集』『謡曲』を取り上げて、欧米読者向けに英訳した書であり、ことに『万葉集』へ

の関心が高いようすがうかがえる。

本書はロンドンで出版された初版本であり、中表紙に「Captain Motoyama I.J.N. / with the author's compliments」と記されている。「I.J.N.」は「Imperial Japanese Navy（大日本帝国海軍）」を意味し、明治十三年当時に海軍兵学寮の校長であった本山漸（一八四二～一九二〇年）*2への献呈本とみられる。海軍のCaptainといえば大佐や艦長を意味するが、本山が大佐となるのは明治十五年であり、校長就任前は「筑波」や「富士山」の艦長を務めていた。本書出版時（明治十三年九月）は海軍兵学寮次長であり、校長に就任した同年十二月以降に、元艦長かつ海軍兵学寮校長への敬称としてCaptainを用い献本したのではないかと考えられる。

なお、洋書の製法で、複数ページを印刷した大きな紙を折り曲げ、仕上げ寸法に合わせて周囲を切り落とす最後の工程の全部もしくは一部を行わないのがアンカットであり、そのまま製本した本をアンカット本と呼ぶ。本書は著者献呈署名入りのアンカット本である。

注

*1 B. H. チェンバレン著・川村ハツ工訳『日本人の古典詩歌』七月堂、一九八七年

*2 太平洋戦争研究会編『帝国海軍将官総覧』ベストセラーズ、二〇〇二年

